

学校教育目標  
夢と志をもち 今を主体的に生きる児童・生徒の育成  
～想像する・挑戦する・継続する～

児童・生徒に身に付けさせたい資質・能力

「主体性」「協働性」「自己の生き方を考える力」

研究主題  
確かな見通しを持ち、主体的に学びを構築する児童・生徒の育成  
～個人思考を深化させる手法の開発を通して～

協働的な学び

個別最適な学び

見通しをもって学習させるための  
単元構成

- 単元のゴール設定
- 本時のめあての明確化
- 評価指標の提示
- 既習学習との関連付け
- 板書や授業の流れの構造化

単元のゴールに向けた  
意図的な個人思考の手法

- 自分の考えをもつための時間を確保した単元・授業構成
- 考えをもたせる手法の開発

授業におけるつまづきの予想・既習事項との関連の把握

児童・生徒の実態把握

研究仮説

児童生徒が単元を見通し、「個人思考」の時間を意図的に確保することで自らの学びを構築できるようになれば、表面的な理解に留まらない深い習得が実現し、標準到達値等の客観的な指標に結実する「確かな学力」の向上へと繋がるであろう。